

昭和三十三年六月
婦人労働資料 第五七号

婦人の職業に関する参考資料

― 第六回婦人の職業意識をたかめる運動から ―

婦人少年局婦人労働課

婦人労働課

資料 No.

7

は し が き

婦人の職業意識をたかめる運動は、婦人の職業に
関する啓蒙運動ですが、第六回は昨年十一月十二
日の二カ月間にわたり、全国的に実施されました。

今回の運動には、特に関係各方面から、地方的特
色のある婦人の職業関係資料がよせられています
ので、そのなかから若干の事例をひろって職業指
導の参考に供する次第です。

なお、ここに採録した資料は、婦人の職業に關す
る問題点を示唆しているものに重点をおいて抄録
したものであつて、特にすぐれたものぞんらんし
たわけではないことをおこころいしておきます。

目 次

1 第六回婦人の職業意識をたかめる運動行事の事例 (婦人少年聖主権分は省略)	一
2 職業安定所関係事例	一〇
3 学校関係事例	二二
4 報道関係事例	三二
5 事業所における学卒受入状況事例	三四
付 婦人の職業関係統計資料	四四

1

第6回婦人の職業意識をたかめる運動行事の事例

イ. 職業安定主務課、公共職業指導所

ロ. 教育委員会、学校、PTA

ハ. 婦人団体、その他

イ 職業安定主務課、公共職業安定所関係

名 称	所 在 地	主 催	摘 要
婦人の職業指導 研究 こんだん会	新発田市	新発田 職安	中学校職業科担当教師による研究会、農村女子の就職について、女子自身の職業観、家庭、一般社会の限定された女性観等がとりあげられ、ひろく、職業指導を行うことが要望された。
女子の職業指導 こんだん会	新潟県 三条	三条 職安	中学校及び高校の職業担任教師が出席、女生徒の就職の現状が検討され、女子自身、父兄、地域社会の指導、啓蒙の必要がのべられた。
職業指導協議会	広島市	広島 職安	参加者、管内中学校職業指導担当教師、職安係官、婦人少年堂、学校側から職業指導に關する要望あり、婦人少年堂には、別の視野からの援助、資料の提供が希望された。

名 称	婦人の職業問題 こんだん会	婦人の職業紹介 こんだん会	リ	婦人の就職生談会	婦人の職業意識に ついてのこんだん会
開催地	横浜市	水戸市	高知市	大宮市	徳山市
主 催	県販安課 婦人少年室	県販安課 婦人少年室	リ	リ	徳山販安 市立岐陽中学 婦人少年室
摘 要	関係官庁、中・高校販業指導担当教師、使用者、婦人少年室が出席、婦人の職業指導について、各校間の連絡が協議された。	販安所長から、女子の求人、求職状況について、学校から女生徒の意識、求人条件などについて説明、婦人少年室から、女子の職業指導について要望、各関係機関の協力について懇談した。	各地区の職業安定所係官、県販安課員、婦人少年室職員が出席、新規学卒を中心として、婦人の職業に関する需給のアンバランス、職業技能の向上等がとりあげられた。	就職を希望する女子高校生と新規就職者との座談会。販安係官、婦人少年室も出席して、職場における婦人の職業問題について、意見を交換した。	職業科女生徒、教師が参加、婦人の職業、就職等について、生徒側から、切実な質問が相次いで提出され、販安、婦人少年室が回答に当る。

職業指導についての こんだん会	県外に就職する 女生徒のこんだん会	婦人の職業こんだん会
小野田市	鳥取市	青森市
小野田県安	県安課 県教委 婦人少年室	青森県安 婦人少年室
学卒の就職期に定期的に行われる中学校職業科担当 教師と県安との連絡協議会であるが、この機会に婦 人少年室協働員から、婦人の職業について説明、こ んだんした。	女生徒、PTA、教師が参加、本地方における紡績 の県外就職は一〇〇名であるが、就職は、友人か くから、給料がよいから、設備がよいからだけで められがちで、取消や離職の多いことへのべられた。	自治行政関係機関、教育委、婦人団体等が出席、職 安から、女子の職業紹介の現状について、教育委か ら、女子の職業指導について説明、婦人団体から、 婦人の職業について、一般の認識をたかめることが 要望された。

口 教育委員会、学校、PTA関係

名 称	所在地	主 催	摘 要
婦人の眼業研究会	山形県 西村山郡 谷地	谷地高校	女生徒、教師が参加。高校生は、就眼難といわれるが、事務員ばかりを希望する考へ方は検討を要する。婦人の眼業に關する資料をほしいなどの意見があつた。
婦人の眼業研究会	浦和市	県教委 高校女教師会	「婦人と眼業」について婦人少年局長の講演あり、当教師会の実施した「高校女生徒の眼業意識調査」を研究テーマとして、分析・討議した。
婦人の眼業指導 こんだん会	神戸市	市立須磨高校	教師、生徒が出席。本校の特色としてゐる家庭科の眼業教育を中心として女子の眼業一般に關する實際問題をとりあげて、討議した。

婦人の職業公開 座談会	婦人の職業講演会	ク	ク	働く婦人の先輩と 囲むつどい
鳥取県 八頭郡家町	山形県 最上郡金山	熊谷市	前橋市	京都市
県立八頭高校	町教委	市教委	市立四中	村立高校 京都府 教育委員会
職業の先輩を中心として、卒業期の女子生徒、在校生徒全員の公開座談会を開催、婦人の職業技術の向上、職業の理解をふかめること等がのべられた。 教委関係、就希望の女子を対象、農村から県外に出稼する女子について職業技術の向上、家庭と社会の理解の必要等について講演あり。 女教師・教育委員・PTA対象。婦人と職業について、婦人少壮室長ほか関係者の講演あり、婦人の職業について理解をふかめる。 卒業期にある三年生を対象として、婦人の職業観と将来の進路について講演（室長）、質疑応答を行った。 職業の先輩をかこんで、婦人の職業についてこんだんした。 将来の進路のきめ方、職場の婦人問題、婦人自身の職業に対する考え方、男子、家庭、社会の理解、働く婦人の家庭生活、経済生活について。				

名 称	高校生をもつ 母親の会	PTAの 婦人の職業講座	PTA 職業講座	婦人の職業講演会	
開催地	福岡市	館林市	山形県 東置賜郡 泉郷	和歌山市	松江市
主催	県高校組 婦人部	市教委 市立赤羽田 中学校	泉郷中学校 PTA	星林高校	松江商業 高校
摘 要	県下から、母親多数が参加し、高校生の生活指導、就職、進学などについて分科会をもつて討議、研究した。職業分科会助言者として望長出席。 中学校PTAを対象として、望長講話 1. 農村出身の婦人労働者について 2. 婦人の職業について 3. PTAの職業に対する関心と協力について 4. 家庭と社会の理解の必要について	農村の二、三男対策と全様に、女子の職業問題について、もつと理解と協力をもつて考え、職業などの専門機関ととおして研究することなどの意見が述べられた。	参加者、職業科担当教師・進学、就職をとわず、女子生徒全員、婦人の職業について望長講演のあと、二人だん会を行った。	就職を希望する女子高校生・担当教師を対象、婦人の職業と労働について望長講話。	

婦人の恥業 こんだん会	寒河江市	県教委	高松中学校において開催 教師、教育委員会関係者、 父く婦人を変えて、こん だん、農村の婦人労働と、 農村婦人の就職問題がと りあげられた。
中学生の進路 指導研究会	久留米市	県教委 県教組	中学恥業指導担任教師の研究会を実施、恥業指導に ついて発表あり、望長は助言者として出席。
P T A 婦人の恥業講演会	鹿児島県中郡 ほか二郡	小学校 P T A	教師、P T Aを対象として婦人の労働と恥業につい て説明（望長）
婦人の恥業展	横浜市	横浜学園	年中行事として、学校の創立記念日に生徒の企画で 実施し、一般に公開する。資料は婦人少年望、その 他から、援助をうける。
公開座談会	大津市	大津高校	「有能な恥場婦人となるには」の議題により、先輩 使用者、恥安課長を講師として公開座談会を行った。 参加者女子高校生全員

ハ 婦人団体 その他

名 称	開 催 地	主 催	摘 要
婦人の職業講演会	埼玉県 A 八潮 B 飯能市 C 〃	入間婦人会 吾野婦人会 坂石婦人会	幼く婦人または、就職を希望する女子の学生、生徒をもつ母親のつどいをもち、婦人の労働や職業について、理解をうながすための講演を行った。(会長)
有能な職業婦人との公開座談会	横浜 市	Y W C A	有能な職業婦人の座談会を公開し、就職の決定した女子高校生が傍聴、負向した
婦人の職場公開	和歌山 市	白崎婦人会	婦人の職業について、認識をふかめるために、婦人団体、婦人少年室協助力員が採録業に働く婦人の実情を見学
婦人の職場公開	佐賀 市	佐賀商工会議所 グリコ(株)ほか 十七工場	婦人団体、高校生、中学生等が、交代で、前後十八回にわたり職場見学を行い、婦人の労働や職業について認識をふかめた。

婦人の職業問題を
語る会

鹿児島市

鹿児島
婦人団体連盟

各種婦人団体、および主婦が出席、婦人の職業につ
いて母親の理解をふかめるために、室長から説明し、
娘の職業について、男子と差別してきた母親の態度
が反省された。今後、各婦人団体でも研究するよう
提案あり。

2

職 業 安 定 所 関 係 事 例

イ. 職安の窓口よりみた婦人の就職問題

ロ. 横浜職安における最近の女子求人傾向

ハ. 女子に関する職業情報

大政 { 女子の職種別求人, 求職, 就職状況
求人票からみた職種別平均賃金

就労 { 中学校卒業生職業別求人, 求職, 就職状況
女子のための職業情報

ニ. 就職経路からみた女子の課外就職者の動向について

ホ. 女子の不調理由分析表

イ、職安の窓口より見た婦人の就職問題（特に高校女子について）

滋賀県大津公共職業安定所

毎日 安定所の窓口には数多くの職を求める人々が訪れて居りますが、当安定所の月間有効求職は先月は一八七五名でそのうち女性性は七四三名で四割近くの比率を占め、就職数も約三百名のう一二五名で四割以上になって居り、女子の職場進出の旺盛さと、その実績を物語るて居ります。しかし高校以上の学校卒業見込者の女子の就職率が非常に悪いという向頭があり、種々考えて見なければなりません。

当前管内には六高校があり、そのうち本春は三七六名の女子卒業生が就職を希望し、十二月末現在で約二十%六三名が決定して居り、卒業時に四〇%近くなれば、好成績と思われねばならない悲観すべき状態です。これが客観的な原因として考えられるのは、

女子の採用の唯一要件が通勤であること、それも親もと（自宅）から一時間以内が主要会社の規格である。したがって事業所の多い京阪神地区外にある当地方としては不利である。

一 二は女子高校生を対象とする住込求人是非常に少い。

一 三は当地方には事務的業務を必要とする事業所が少い等

次にこれら就職希望している女子高校生側としても相当多くの向頭を持っています。毎年のある旅行事例から分析してみると、先づ一に女性の職業に対する認識の問題であります。

最近女子は高校が最高教育として結婚までの時期を「お勤めしたい」との風潮があり、就職希望が増加して来ていますが、はたして男子のように本当に働かなくてはならないという運命と気魄に燃えているものが、どの位いるか？ 疑問であります。よいところがあれば就職してみようかとの漠然とした、そして甘い考えをもった人が多い。

一 二に見栄体裁等にとらわれすぎている、より好みがついて。

職業の選択は自己の性格能力にあったものでなければなりません。即ち、適職を選ばなければならぬことは根本であり、それだけでは無く勤めようとする場所の産業の状況や雇用の状況を出来る限り知って適職を選ぶべきです。その選択は人生の針路を決定する一つの重要な分岐点でありますから、たゞ單に体裁がよいとか、見栄ばかりで、しかも職業の選択でなく、会社の選択を行い、有名会社、銀行、百貨店に応募者が殺到し、無駄な競争を行っています。そして中小企業の求人に対しては見向きもせず、むざ／＼無効求人にしています。又、現場の仕事をきつう傾向が強い。

オ三に事務員のみを希望し、電話交換手、看護婦、バスガイド、エレベーター係、店員等を希望するものが少ない。男子のホワイトカラーを希望する傾向よりさらに強い。

オ四に仲のよい友達となれば一階に就職したいとのアベック就職希望者が多い、等であります。

以上の如く社会的に解決しなければならぬ点も多いのですが、職安はもとより、学校の職業指導に於いての徹底的改善が根本向題であるということが出来ます。

次に雇用主から得た女性の職業向題に關する事項を例記し、就職希望者はもとより、職場の婦人の参考に供したいと思ひます。雇用主は

1. 尙く時には仕事の上では男女の区別はない。女性は積極性が少ない。

2. 男の人は努力するが、女の人は一徹には男の人に劣る。

3. 女性は感情的に仕事を行い、したがつてむらが多い。

4. 世帯を持った女性は家庭労働と二重になるためか、欠勤多く、能率も下る。

5. 与えられた仕事は一応やるが、他を手伝うようなことはない。

等苦情的なことを並べましたが、実力を養つて高い職業意識と強い決心を持つたならば、今後婦人の職場はさらに広くなる可能性もあるわけですから、甘い考え方をすて、女の特性を生かした職業を求めてほしいと思います。

最後に高校以上の女子生徒の就職向題は女子教育及び職業教育の将来の在り方にかゝっていることを強調し筆をおきたい。

口、横浜職安に於ける最近の女子求人傾向

各産業とも求人の申込数は増加傾向にある。鉄鋼造船車輛、化学、機械、電気機器製造業に特にそれが著しく此の産業に属する事業所からは大量求人が殺到し、更にその下請中小企業からの求人も漸増の傾向を示している。

○ 女子の求人の中から比較的多いもの

職 種 名	収 入	年 令 範 囲	条 件	備 考
経 理 事 務 員	月 5,500 ^円 ~ 8,000 ^円	18才 ~ 30才	筆記ができること ソロバノ3級以上 多少経けんある者	毎月約100名近くの求人がある。
着 装 婦	月 7,000 ^円 ~ 10,000 ^円	20才 ~ 30才	免許状保持者 船 乗	通勤、任込相半ばしている
看護婦見習	月 3,000 ^円 位	16才 ~ 25才	住 込	
ウエイトレス	(通勤) 月 5,000 ^円 ~ 7,000 ^円 (住込) 月 3,000 ^円	14才 ~ 25才		
店 員	(通勤) 月 5,000 ^円 ~ 6,000 ^円 (住込) 月 3,000 ^円	16才 ~ 25才		業種は多種多様である。
動力ミシン工	日収 150 ^円 ~ 200 ^円	16才 ~ 40才		
雑 役	日収 170 ^円 ~ 250 ^円	18才 ~ 40才		工場、店舗その他の掃除雑役
女 中	月 3,000 ^円 ~ 5,000 ^円	16才 ~ 50才	住 込	常時150人位の求人あり 一般家庭、料理飲食店向

その他 頭婦、採米工見習等

八、女子に関する職業情報

女子の職種別求人・求職・就職状況

—32年々月分—

大阪府城東公共職業安定所女子紹介係

職 種 別	求 人	求 職	就 職
教 育 保 姆	1	17	3
看 護 婦 其 他	18	31	8
事 務 員	273	585	205
事 務 見 習	35	110	24
タ イ プ ス ト	21	50	22
灰 換 手	10	33	10
接 客 サービス 取	10	36	7
店 員	135	195	79
女 中	57	33	36
雑 役 炊 事 婦	93	150	58
工 員	507	513	258
洋 裁	13	39	7
ミ シ ン エ	35	79	30
其 他	4	2	1
計	709	816	390
合 計	1212	1873	748

(14)

○ 求人票からみた職種別平均賃金

(昭和32年3月)

(女子)

大阪府天満公共職業安定所

職 種	経 験 程 度 (年 数)	賃 金
美 容 師	見 習 4年免状所有者	(住) 1,000 円 (住) 7,500
肩 護 婦	見 習 免状所有者正5年前后 "	(住) 3,500 (住) 6,500 7,000
薬 劑 師	補 助 者 5年免状所有者	(交) 6,500 (交) 10,000
アナウンサー		(交) 6,700
ミ シ ン エ	未 経 験 者 ～ 2 年 ～ 5 年	(交) 5,200 " 6,500 " ⑨ 350 9,100
洋 裁 師	未 経 験 者 ～ 2 年 ～ 5 年	(住) 1,500 (交) 4,500 (交) 6,750 " 11,000
電 話 交 換 手	未 経 験 者 (適 認 証 中 修 2 年 前 后 所 有 者 5 年 前 后)	(交) 5,700 (交) 7,500 (交) 9,500
政 文 タイピスト	未 経 験 者 ～ 2 年 ～ 5 年	(交) 6,500 (交) 8,000 (交) 10,625
邦 文 タイピスト	未 経 験 者 2 ～ 3 年 ～ 5 年	(交) 7,250 (交) 7,800 9,000 以上
エ レ ベ ー タ ー 係	未 経 験 者	(交) 5,500
店 員	未 経 験 者 ～ 2 年 経 験 者	5,500 (食 事 付) (交) 6,500
単 純 労 働 者		(交) 6,500
包 装 工		(交) 5,850
調 理 手 伝		(住) 3,000 (交) 7,000
女 中		(交) 3,000

中学校卒業生職業別求人・求職・就職状況（昭和31年3月半）

新潟公共職業安定所管内中学校

職 業	求 人	求 職	就 職
店 員	290	430	185
鋳物工・ボール盤工・旋盤工・仕上工・板金工	119	65	75
事務員・事務所給仕	118	373	78
料理人・飲食店給仕・理容師・美容師	91	80	39
縫 製 工	76	105	49
紡 織 工	64	161	75
見習看護婦・保育・機械技術者	51	91	46
女 中 ・ 子 守	47	23	16
製パン工・製菓工	47	45	28
車 掌 ・ 運転手助手・配車夫	42	165	31
製材工・家具工・建具工・製函工	42	59	32
印刷工・製本工	34	21	30
紙 箱 工	31	11	21
各 種 技 能 見 習	28	0	0
フ リ ー ニ ン グ 工	21	27	13
ガラス工・タイル工	21	55	53
機械・自動車・ラジオ・自動車修理工・研磨工	11	67	2
木型工・塗装工・染色工	6	1	2
製 靴 工	5	0	0
字 真 師 ・ 字 図 工	2	2	1
下駄職人・印判工・現具工	3	1	1
農 婦	1	1	0
大工・左官・配管工	1	0	0
ラジオ組立工	0	9	0
電 工 ・ 配 線 工	0	2	0
そ の 他	6	0	3
合 計	1157	1194	780

各職業で要求している能力について

書 記 的 ・ 販 売 的						自 由 ・ 専 門 的		職分類
外交販売員	衣料品販売店員	食料品店員	百貨店売り子	事務所給仕	一般事務員見習	写真技術助手	看護婦見習	写真工(トレーサー)
販売主任の下に、よく先を廻り、注文をとり、販売契約を結び、集金を行う	店内の美観・調和を考へて商品陳列、来客との応待、品質のみわけ方、面談の要領を实地に習得	店頭を清掃し、商品に直射日光が当たぬよう、よく先廻り、集金、その他	陳列台の商品の特效について説明、客の応待、包装、代金を受取つて会計係にわたす	清掃、来客の案内、茶の接待、電話の取次ぎ、各係との連絡	文書の受付・発送、帳簿記録、来客の取次ぎ・応接、湯茶サービス	現像液・定着液の調合、印刷紙の乾燥、スポンジング、引伸し、客との応待	医師の指示・監督を受け、各器具の煮洗、消毒、検温、看護、其の他	設計図の上にトレーシングペーパーをのせ、用器画道具を用いて正確にうつしとる
商品の特效・内容を理解し、これを説明する言語能力、応待力、手探り、健康	美的感覚、色神の健全なもの、社交性のあるもの、人に好感を与えるもの	普通程度の一級智能、算数能力、愛さうよく応待し、よい感じを与える	一級智能、暗算能力、視力・聴力が健全、快活で人と応待することが上手	身体は健康、素直、動作機敏、記憶力	智能普通以上、算数能力、言語能力、文字をきれいにかけること	一級智能、中図工科に興味、数学的判断力、美的感覚、指先の器用さ	2カ年の実地見習、看護婦試験に合格することをする。体重、視力の1.5以上、親切心、忍耐心、成績上位のもの	目と手の共通性、綿密性、視力、一級智能、空間判断力、算数能力

技能					半技能		単純技能的		
技	能	能	能	能	精	織	かまぼこ製造工	洋菓子製造工	製パン工
バス車掌	印刷工	文選工	製材工	ミシン縫製工	精紡工	織布工			
乗車券の発売、乗客へのサービス、運転手への合図	活版印刷作業、機械への版の取付、インクのみじり	原稿をみながら活字台の活字をとり、文章に組む作業	池の水揚げし、機械で木材や板材にし木材の等級を見分けて結束する作業	ミシンを操作して衣服、日用品等の繊維製品を縫い合わせる	精紡機の台持工として、撚糸、かり、糸を紡ぐ仕事をする	自動織機で綿、麻、スフ、絹、毛などの布を織りあげる	魚市場から原料を買入れ、水光、紛砕、すりつぶしの機械作業、かまぼこの灰型、味付け、蒸し上げ、凍庫	小麦粉・卵・ミルク・バター等の原料を加工して、ドーナツ等をつくる	小麦粉の秤量、原料を練る、イーストを入れる、パン焼窯に入れる、
健康、腕力、視力の、九以上、筋力能力、注意力、落着き、責任感	印刷機の構造、能力を理解する力、指先の器用さ、正確、目と手の共感、視力、色盲不可	原稿を読む能力、活字をひろう能力、読解力、判断力、手と指先の器用さ	重労働を扱う強健な体力、持続的注意力、目と手の共感、目測の正確	目と手と共感が要求される、注意力、綿密性、反覆作業……忍耐能力	手腕及び指先の器用、眼と手の共感、手の運動速度、身長一五〇センチ以上	自動織機の操作、立作業、健康であること、指先さみつき、単一作業であるから忍耐能力	体力、手腕、指先さみの器用さ	一人前の職人となるためには菓子原料の割合配分のための算数能力、作る手順を記憶、手先さみの器用さ	小麦粉をこねる、運搬もする、手腕を非常に使う、体力もいる

二、就職経路からみた女子の県外就職者の動向について

鹿児島県職業安定課

調査対象及び方法

調査対象は、次の各項目を基準として、県下の二〇ヶ市町村を選定した。
即ち、

A. 就転希望者が地元安定所を利用しようとする場合、交通その他の事情で極めて不便と思われる地域。

B. 他県に隣接している地域或いは交通機関の利用が便利で、容易に県外へ転出可能と思われる地域。

C. 今まで特に県外への出稼者が多い地域。

D. 不当雇用慣行の忌むしい実例を出し、社会的に大きな関心を持たれた地域。

である。

調査の方法としては、昭和三〇年一〇月中旬に就転のため県外へ転出する者が転出証明書などの交付を受けるため、市町村の窓口に出頭した際、市町村の協力により、就転経路、転出先、転業などを質問票により調査した。

I. 就職経路からみた職業又は希望職業

職 業 分 類	女	男
調査対象人員	284	427
自由専門的職業	2.8	
管理的及び公務的職業		2.3
書記及び類似職業	5.3	2.1
販売及び類似職業	10.5	7.4
家事奉仕職業	11.9	
対人奉仕職業	2.5	0.7
警備職業		21.4
農業園芸及び類似職業	0.8	0.9
漁業的職業		21.8
食料品製造の職業		0.5
繊維製品製造の職業	60.0	0.7
加工繊維製品製造の職業	2.2	0.5
紙及び紙製品製造の職業		0.5
皮革及び皮革製品製造の職業		0.7
石、粘土、ガラス製品製造の職業	0.4	0.2
金属加工の職業	1.8	15.7
各種製造の職業		0.5
電気機械器具製造職業		0.9
鉱物採取の職業		7.2
建設の職業		8.9
運輸職業		2.6
不 明	1.8	4.5
合 計	100	100

II. 就取経路からみた就取地域

就取先 性別 別	計		京 浜		中 京		京阪神		中四国		北九州		南九州	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
安 戸 機 関	100	100	1.0	4.3	62.9	13.1	22.9	13.1	5.2	、	2.0	65.2	、	4.3
友 人 知 人	100	100	7.5	9.3	12.9	0.5	59.1	21.3	1.1	9.3	9.7	12.1	9.7	47.5
両親、兄 妹、親戚	100	100	8.1	13.6	5.4	6.8	56.8	59.0	4.1	4.1	16.2	9.6	9.4	6.9
学 校 関 係	100	100	20.0	14.3	、	14.3	40.0	28.6	、	、	20.0	14.3	20.0	28.5
新聞、募 集、広告	100	100	、	3.3	20.0	2.2	80.0	16.3	、	3.3	、	66.2	、	8.7
その他	100	100	、	17.6	9.1	53.0	63.6	5.9	、	、	18.2	17.6	9.1	5.9

ホ、女子の不調理由分析表

(昭和31年12月分)

埼玉県職業安定課

区分 安定所別	人物性格 不適	通勤 困難	技能経験 不足	健康 不良	年令 不適	給料 折合ず	充足否	その他	合計
浦和	6	1	、	1	3	、	3	6	20
川越	32	3	5	、	1	、	2	12	55
東松山	3	3	、	1	5	3	4	9	28
朝霞	、	、	、	1	、	、	、	6	7
熊谷	2	5	2	2	1	1	2	11	26
本庄	、	、	、	、	、	、	、	、	、
川口	、	1	4	、	、	3	3	13	24
大宮	10	4	1	1	3	8	1	8	36
秩父	1	4	3	2	3	2	6	9	30
所沢	4	3	、	、	3	、	8	、	18
飯能	2	1	、	、	1	、	、	、	4
春日部	1	、	、	2	、	2	4	4	13
草加	、	、	、	2	、	3	、	7	12
行田	、	、	、	、	、	、	1	、	1
合計	61	25	15	12	20	22	34	85	274

3

学 校 関 係 事 例

イ. 女子中卒生の職業問題に関する一考察

ロ. 女子の就職と定着性の問題について

ハ. 普通高校における職業指導の実例

(職業指導第20巻第6号より抜萃した
特別参考資料)

イ 女子中卒生の職業問題に対する一考察

高岡市立高岡北部中学校

教諭 藤井 弘

一、女子生徒の就職の動機

女子の就職相談をなすにあたり女子は一般的に職業に対する意識の発達が男子よりも遅く、就職ということを具体的に表わすのは中学校三年生二学期ころである。

希望職業の理由調査

三年生女子一〇〇名調査

面白そうだから
楽だから
好きだから
世のためになるから
評判がよいから
危険でないから
将来有望だから
気性にあうから
理由がないが何となく
兄弟関係の立場から
身体にあうから

九 四 七 一〇 二 二 七 八 三 二 六

以上のように理由がないが何となくその職業を選んだというのが十三名も居た。しかし昨年末行つた選職の理由に将来有望な又気性にあう職業を選んでいるのも相当数でている。

一、女子の生徒の職業観

女子は就職の動機にも何われるように中学校で、二年生の頃は全く考えて居らない。三年生になつてようやく自己も又一つの職業をもたねばならなくなるだろうという程度にしか考えて居らない。しかしその選職と同時に急激に職業に対して真剣に考えてきている。A. 職業の経済性、B. 職業の社会性、C. 職業の個人性についても三年の二学期始めになると勿論学校の職業指導の結果もあるが父兄の考えをそのまゝ生徒にうつがれて居るのが多くみられ親の考え方と女子生徒の考え方が同様であることが職業相談の時に多くみられている。しかし近代国民意識というべきが男子と同様の生活をいとなむためにはどうしても女子も経済的に生計を自分で独立せねばならぬ、何とか生計の道を職業にみつければならぬと考える生徒も中学校の課程のうちに多くみるようになった。

一、女子生徒の労働意識

女子が三年後期の十六才になると職業に対する意識と共に労働に対して自然関心をもつてくる。しかしそれは団体としての労働意識である。繊維工場、採糸工場など集団的に勤務する場合の労働を考へている。三年生の調査においても最も多く労働について関心を寄せたのは第一に賃金である。第二に職場の雰囲気、第三に仕事の難易度、第四に職場の人間関係であつた。

現在紡績を以て女工歴史的に考えたり、かこの鳥の如く考えたりするものの全く絶無であり、自ら楽しく自ら紡いて賃金を得て日本の繊維産業の生産に喜んで従事する態度があらにみえる。労働時間やリクレーションの問題や寄宿舎の内容について授業時間に質問をするのもそれらについて関心を示す

ものといつてよからう、現実には勞基法が守られていない、職場又適用外の職場、女中などをさるうのも無理のないことと思つ。正しく職業をもち正しい勤務観をもつことは女子の誇りとして勞働意識を特に高めさせねばならぬと考える。

一、学校としてとれる女子の職業指導

本校としては三年生に週一時間「職業指導」の時間として職業の知識、勞働基準法、職業安定法、勞働組合法、勞働関係調整法、社会保険などについて実際の職場に結びつけて授業を行い職業についての知識を与え將來の就職についての心構えを説いている、且職場の見学（紡績工場、採糸工場）及女子卒業生の就職者の意見発表を聞いてゐるのである。

一、女子の就職に対しての父兄の職業観

父兄の考えが女子就職、選職に対して勿論大きい条件である。職業が恒性にあつた個人にふさわしい適職であらねばならぬことは勿論である。適性検査、可能検査、労力検査などを通して女子に適職であることが往々にして父兄の意見と異なることもある。父兄のいづく女子に対する職業は一般的に A、只二三年間一時的にどうか無事にすぎこれ、ばよいといった考えと、B、自己の歩んだ道に同じようにやらせる、C、別な道を歩ませようと思えるもの、D 家庭の経済的援助の対象として職業を考える、又は職業の外見のみにとらわれて外見に体裁のよい職業ということを考える例がある。中学生に何ら珠算タイポの技術のないのに事務員などを送ばせる父兄もある。これらに対しては父兄、教師あくまで本人の職業であるより本人とよく相談して本人に決めさせるべきである。

一、女子の就職選考についての問題点

○生徒側にいづく問題点

1. 選考試験に對して果たして合格できるかという不安。
2. 自己の能力が果たして職場に満足できるかどうか不安である。
3. 職場が果たして自己をうけ入れるかについての不安。
4. 生徒は職場に對して全くの未知数である。
5. 男子に比し精神的にシヨックが大きい。
6. 学業成績能力があつても面接テストによつて自己の容弁だけでは認められぬ場合が多い。
7. 面接の時百貨店、小売店などでは特に容ぼう、態度、意気がとくに問題にされがちである。
8. 技能に自信があつても容姿、言葉の表現にのみとられ、誠実さ、素直さ等があらわれない。

○採用者側の問題点

1. 女子の働く意思 就職を希望しても果たしてこの女子生徒が永続性をもつて働くかどうか、強い働く意思があるかが最も大切な要件であり根本的なことである。
2. この採用に關し女子の就職に對して出来るだけ採用者側のテスト者に女子を当てるべきで先達となるべき女子が女子の立場を理解して就職させるべきであると考えよく会社側の採用者に若い男子像員がいるが女子の採用には女子の体質に代えられるべきである。

一、女子の職場の雰囲気と職場の指導

女子の職場を男子が不足した代用と考えず充分に把握すべきである。女子の職場の理解と女子の労働意欲を高める労働者として決してしりぞきすることなく働く者の権利を堂々と主張すべきであるが又同

時に採用者側もこの職場の雰囲気なり職場の女子の特有性、女子の労務の管理の実態を認識し之を助長指導すべきである。

一 女子生徒の補導の問題

女子の職場は一時的と考えられ易いが職業とされれば永続性をもつてつとめるべきである。女子に女子特有の労働問題があるがそれを克服して生涯向上に努めるべきである。不適な無理と過労を重ねる職場に女子を労働に強いることは敬につしまねばならない。

女子も女子の職場の夢とあこがれをもたしめたい、女子の職場にしても将来の昇進と女子技師長、工場長、女子社長、店主などすべて女子に夢をもたせそれを実現すべきで単なる女子の一員として一時的腰かけ物のものでないことを銘記すべきである。

ロ 「女子の就職と定着性の問題」について」

栃木県立鹿沼高等学校

職業指導主事 大

岡

三

郎

本校は各学年共男子一〇〇名女子三〇〇名から成り、進路希望状況は、毎年男子八〇%、女子一五%が進学、男子二〇%、女子五〇%が就職、残り女子三五%が家庭に留まる者となっている。地域社会の環境は、木工業又は下請鉄工業中心の小企業が多い市である。

就職希望者の退職については特に女子の場合に非常に困難な幾多の問題が多い。

一 現 状

(一) 職業内容把握が主観的過ぎる。

職業内容の指導は、二、三年を対象に特定の時間へ土曜放課後の職業講話、夏季休業中の特別指導その他随時又は、生徒集会等にて集団的に行っているが、女子は、表面的把握に留まり、自分に都合の良い推理解釈をして、実際送職に際しては待過ばかり重視し、自己の能力、身体的状況等は軽視し勝ちである。

(二) 自己を過大評価するさじがある。

職業を選ぶ場合は、自己の適性、能力については、適正検査、教師の助言、学業成績等により或程度自己評価が出来ている訳であるが、女子は一般的に虚栄心から、又は友人に左右され、適正な判断が出来ず徒らに小規模経歴を忌避し、銀行、公務員又は大会社、テパート等比較的劣条件に恵まれた事業所に集中し、小企業を厭う傾向が非常に強い。

(三) 職業並に我が子に対し父兄の認識不足の者も可成り多い。

選職について父兄の関心は相当強いのであるが往々にして子供の能力と適性を考慮することなく父兄の地位、或は一般社会の歪められた縁故就職の風聞をもとにして大企業への選職等、無理な要求をする傾向がある。

例えば一流銀行、大会社よりの求人に対し、父兄が生徒自身の能力をかえりみず受験を学校に要求する事が屡々あり、生徒自身も学校も苦境に陥ることがある。

(四) 選職に際し生徒は絶えず動搖している。

生徒は社会情勢や自己の能力を認識しない結果、徒らに理想に走るが、又は極度に自己を卑下するかして冷静な判断に欠ける事が比較的多く、希望職種は絶えず変動し、卒業近くなつて土曜場に選ばれるまでは只氣を揉むに止まり、求人に対し理想に近い職場以外には応募しない。

(I) 二年より始める職業内容の解明

本校に求人のある職場を中心としてできるだけ具体的に解明している。特に木工業、鉄工業の小企業経営、並に京浜地区同屋、県内旅館住込み、凍武・関東バスガイド等の実状解説の際は、稍るすると概括的説明にばかり勝ち所から来る離職を防止する為にも、就職後現場と学校で行う職場解説の内容との相違を末にささないよう、労働三法と実社会の現状関係のありのまゝの姿を平易に解説し、正しい理解をさせている。

(II) 正しい自己評価と虚栄心に関連する選職

本校への求人は前記の職場から、相当数有るが之等は求人に比し求職者が比較的に少く、充足し得ない現状にある。

その理由として就職希望者数は多いが本人が、確固たる職業観を持たぬこと、友人への虚栄心が先行すること。自己の能力を無視し良い労働条件の職場にのみ目を向けること等の結果、労働を加味した事務的職場を厭う傾向になるのが大部分である。

労働条件の有利な職業の内容解説は、求田による一般指導で充分であるが、小企業並に就かれる傾向にある労働条件下の職場に対する指導は、求田指導では十分な効果を挙げることは困難である。

そこで、直接の個人指導をなし、又は産業別に先輩と座談会を開き、或は卒業生にアンケートで職場の体験を聞き、先輩母校の際は職場解説、特に仕事の内容、労働時間、待遇、休暇等について、テープレコーダーに収めて実状を聞くなど、職場理解に非常に効果があり、実績を上げることが出来る。

三、定着性

指導の経験上、職場において不安定の要因として

- (I) 生徒の実社会への考え方が非常に自己中心的、理想主義的で小企業に対しての心構え等については充分に理解していない。

(I) 雇用主が封建的考えを未だ相当根強くもっている傾向が見られる。

(II) 父兄の職場定着に対する熱意が不足し、現場を正しく理解せず我が子の言葉を鵜呑みにする傾向がある。

そこで、本校としては左の方法を講じている。

(I) の問題に対しては、卒業前に「勤労の葉」を中心として作業所の礼儀や、職場に起り得る種々の具体例から、職場への心構えを充分に理解させるように努めている。

退職又は之に準ずる問題が起った場合、教師が職場訪問して仲介の労を取ったり、退職するにしても一週間は後始末に勤務するよう生徒との約束をすることになっているが、然し之は中々守られ難い。

不意の退職はその後の後輩の道をふさぎ、ひいては学校発展の妨げとなることを理解させると共に雇う者への道徳も弁えさせることは定着へのよい道標ともなる。

又、問題の起き勝ちな職場はマークして置き、必ず訪問指導を行い、他の職場に対しては文書指導を実行しているが、これは定着率を上げるために成立っている。

(II) に対しては、他の職場関係等に就いて懇談しつゝ、出来る限り労務条件の向上に努力している。労務時間については、他の一般労務者との関係もあり、生産性の問題もあつて困難であるが、給与又は勤務上の問題については、多くの事業所は理解し協力する傾向にある。やはり訓練を附いて談合することが最も良く、その場合必ず先方に対する礼儀を重んじ、懇懇な態度を持し、先方の感情を和らげるような心遣いが特に効果的である。

(III) の問題については、P・T・A就職懇談会等において、理解ある父兄の実話等を話し、父兄の啓蒙に努めている。

3 進路指導の職業、学校情報実 (第三、三学年)

第三学年				第二学年				実施時期
十二月	七月	五月	四月	十月	七月	六月		職業情報
本年度現在までの就職状況の中核報告 —不調理由の調査、未就職者の今後の心がまえ、および対策等の説明	求人先の選定について競争率、就職状況、難易の程度、応募内容の説明	1. 学校推薦の方法と、その心算について 2. 取組の選定いろいろ	本年度現在までの就職状況の中核報告 —将来の見通し—	同 —競争率、就職状況、学費、難易の程度、資格取得等の説明—	過年度の就職状況と就職に対する心がまえ —進路決定の参考として—	職業からみた学部学科の選定について(第一回)各大学各学部学科各種学校の説明および紹介		
就職係	就職係	就職係	進学係	進学係	就職係	進学係	実施者	
		プリント配布	プリント配布	プリント配布または展示	プリント配布	プリント配布 文献紹介	備考	

4 進路指導の一般情報教育実 (第一学年)

十一月	十月	九月	六月	五月	実施時期
本校の就職進学の状況と、これに対する心がまえ、および対策等の説明	将来の職業について(第二回)職業分析、職種案内、職業	将来の職業について(第一回)大学の関係、各種学校の紹介等	すどのようになり、将来をどうに実現しようとしたか。どのようになり、将来をどうに実現しようとしたか。どのようになり、将来をどうに実現しようとしたか。	職業選定について(第一回)職業選定について(第一回)職業選定について(第一回)	項目
H.R.T	同	進学係	H.R.T	H.R.T	実施者
プリント配布	同	文献紹介	聴視覚教育を利用することもある。	簡単な資料をプリントして配布する。	備考

資 料

4

報 道 関 係 争 例

—— 新 聞 ——

—— ラ ジ オ ——

— 新 聞 —

記 事 名	内 容	日 月 日	篇 考
月 間 行 事 欄	ノ日 — 婦人の職業意識を高める運動(月末まで) 7日 — 婦人の職業指導懇談会(婦人少年室)	3/12/1	毎日新聞佐賀支局版
論 説 婦人の職業意識を高 めよ。	結婚と女子の労働観 職業技能、労働基準法の遵守、 労働組合の団結について	3/12/5	日向日々新聞
女性の就職心増長。 一付く先輩も 集いから一	就職を希望する明春卒業予定の 女子高校生15名デザイナー、 美容師、看護婦、車掌、女子運 転手等職業に就いている先輩11 名を囲む座談会について。	3/12/7	朝日新聞宮崎支局
女子高校生の就職向願	女子高校生の就職向願をヒッあ げてPTA、職業指導担任教師、 女子高校生、労働関係者等、使 用者、婦人団体代表者の座談会	3/12/2	西日本新聞
紙上座談会 「職業婦人はどう あるべきか」	高校女生徒(3年生)、バスガ イド、日赤病院婦長、市役所婦 人職員、工場教育係長(女)職 業指導係長等各階層の座談会。 司会、新聞社支局長	3/12/12	毎日新聞福岡支局
日曜対談 「女性と職業」	戦後女性の地位が向上し、職場 への進出も目ざましいものがあ ったが最近やゝ後退気味という。 その原因、対策について、婦人組 談員と市民図書館司書などの対談	3/11/28	朝日新聞高知支局
「婦人の職業」 アンケートまとまる	銀行、市役所、工場等県内13市 集場で何く女性148人に対しな 部婦人少年室が行った「婦人の 職業について」のアンケート結 果の発表	3/12/5	産業経済新聞広島版

記事名	内容	年月日	備考
働く女性に重点 —婦人の職業意識を高める—	オムロ婦人の職業意識を高める 運動要綱紹介	3/11/25	下野新聞
婦人の職業意識を高めよう —全国に展開する運動—	運動の主旨と行革の紹介	3/12/15	労働福祉タイムズ
婦人欄 「特殊技術に生 きる第一線の女性たち」	男性と伍して特殊な技術をもち仕事に 立向っているトレーサー、パンチエス ト作家は仕事の苦心やその職業へ の見直し等を紹介	3/12/14	北日本新聞
女性の就職率もよくなったが —困る「なれでもいい」—	横浜地区女子職業界の窓口に見る最近 の女子向き求人求職の動向について	3/2/27	読売新聞

— ラ ジ オ —

番組名	内容	放送年月日	備考
職場訪問	「県民の時間」 県な職員、働く婦人代表8名の 対談	3/11/2	ラジオ大津
リレー職場訪問	婦人アナウンサーの職場訪問	3/11/19	北陸放送
婦人の職場見学	「婦人の時間」 久光兄弟KKの婦人労働者2、 現場係長にアナウンサーがきく。	3/11/20	NHK佐賀放送局
実況録音	「婦人の時間」 婦人少年会主催行事について	3/12/3	ラジオ大分
職場における婦人について	婦人の時間 新規就労高校生、働く婦人の対 談	3/12/4	NHK福岡放送局
職場の婦人問題について	県労連組合婦人部長と婦人少年 会長との対談	3/12/4	ラジオ高松
生徒会の就職について	職業課長、教師、生徒会、会長 の座談会	3/12/24	NHK福井放送局
婦人の職業意識を高めるために	女子労働者と使用者との対談	3/21/14	NHK新潟放送局
婦人の職業と意識の問題 について	「茶の間の時間」	3/21/19	ラジオ山形
婦人の心	録音構成 働く婦人の声をきく	3/21/29	ラジオ南日本

5

事業場における学卒受入状況事例

- イ. 女子高校卒入行者講習日程
- ロ. 女子新規就職者の取扱について
- ハ. 観光地における女子の乗合自動車の車掌について
- ニ. IBM統計会計機械を扱う婦人の教育

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00
5月 1月	人事課長室 及び各課長室 の諸注意	銀行員としての 応対練習	I B M 適性検査		珠算能力 テスト	行内見学										
12火	講	近場と女性 (外部講師)	ペン習字		出納 (珠算実習)	都内支店見学 (バス使用)										
13水		日常必要な	数学練習	記憶実習	ペン習字	珠算	出納	レコード エンサート								
14木		ペン 習字	諸規則	記憶実習	珠算	出納	実習 (書類整理 基本のやり方)	同左								
15金			福利厚生 及び労生													
16土	話	字	新入社員 及び若手 の教育	珠算出納	バスでグランドへ レクリエーション											
17日																
18月	講	ペン 習字		記憶 実習	実習 (事務用機種の操作)			珠 算	出 納	受払目表作成						
19火			同上	記憶 実習												
20水	話	字						算	計算能力 中甸テスト							
21木	(春分の日)															
22金	応待について (含実習)		ペン 習字	同上	同上		同上	出 (応用) 納	同上							
23土			同上	同上	珠算 出納	レコード コンサート										
24日																
25月	応待に ついて	身だしなみ (外部専門家)	ペン 習字		同上			同上	同上	受払目表作成						
26火	電話のかけ方		同上		同上			同上	同上							
27水	講話	応待実習	同上		同上			珠算 テスト	計算 テスト							
28木	模擬実習				新入社員 教育	応待文 作成	貸借の 回収その他 事務事項	記念 撮影	懇親会							

ロ 女子新規就労者の取扱について

一 労務者の数及年令構成

ノ 労務者の数	男子二〇名	内一名年少者
全数九五名	女子七五名	内一八名年少者
2. 年令構成	男子平均年令	二十五才
	女子平均年令	二十一才

二 雇用の方法

毎年三月新規中学卒業期に雇用する。

縁故関係はとらばい。

面接、適性検査、身体検査、字術試験、フレペリン検査

三 雇用後の教育

ノ 会社の定める諸規定を各自配布し、説明を加えて充分に理解させる。

2. 社内における礼儀、先輩、同僚との交誼等に就て細く教え納得させる。

3. 作業に対する教育

一日八時間の作業時間を次の如くに二分し漸次作業に馴れさせる。

イ 入社一ヶ月目 教育時間を午前二時間 午後二時間とする。

ロ 二ヶ月目 全 午前三時間 午後三時間

ハ 三ヶ月目 全 午前三時間三十分 午後三時間三十分

ニ 四ヶ月以降は所定の作業時間にかかせる。

作業時間以外の時間は或る可く運動をさせ、雨天の場合は読書、懇談等実施し、拘束時間は所

定の時間服務させる。

理由 入社三ヶ月迄は体力的にも精神的にも相当度の疲労を来すことゝ推測される為休憩時間を多く取らせ漸進的に向上させる。

4. 作業を教える方法

前項による三ヶ月間の訓練期間にあつては一ヶ所に集めて同一作業を専ら指導員を附し、会社を定めた作業方法を正しく教育する。

四、基礎教育終了後の配置転換

三ヶ月間の基礎教育終了によつて本人の作業成績、性格等を考慮し、適性を判定し適材を適所に配置する。

教育訓練は急がずゆつくり指導している。一ヶ月は遊ばせるつもり。半日は基礎を教え残りの四時間はドッジボールをさせたり、ぼわとびをさせたり散歩させたりしている。

指導は能力のある人で人の気持ちをよくさして可愛がる人をあてる。入つて来て二、三ヶ月位が一番勉強するようだ。

五、女子及年少者の職務上の指導について

1. 女子は男子に比し、自己意志の表現が消極的であつて人事管理に難点があるため、女子の監督者(組長)を三名任命し之を通じて希望意見不平等を容易に述べさせて職場の和合を計る。

2. 諸届(欠勤、休暇、早退、遅刻、外出)については必要な届出用紙を作業場に備付け之に記入して組長に届出させる。

3. 出勤迄の整理に就いては各目が退場の際作業場に備付けてある出勤迄に(全員一表にしたもの)作業時間を記入する。

4. 組長以上の監督者は勞務担当責任者を交え週一回会合し職場の問題、部下従業員の実態等に就

て意見の交換を行い、勞務管理へ人事問題の完全を図る。

六、時に設ける女子の福利厚生に就て

ノ 女子作業服及帽子を会社で定め作成し、各人支給着用させる。

理由 女子の場合お互に見栄をはる傾向あり、衣服に就て個々の環境により異なる服装をし、為に経済的に不自由なる者の精神的苦痛を除き、お互の和を図るため。

2 女子専用化粧室を設け美容の便を図る。

3 作業場に電膏、ラヂオ図書等を備付け休憩時間中之を利用させる。

4 園二圃活花を実施する。半額会社負担

七、監督者に対する勞務管理教育に就て

ノ 女子及年少者に対しては特に左の点に就て周知させ実行させる。

イ、言葉使に充分注意し相手の感情を刺激しないこと。

ロ、容ぼう 体格等に就て云々しないこと。

ハ、呼名に差をつけないため女子にあつても姓に君をつけて呼ぶこと。

ニ、作業指導に當つては懇切丁寧いにも然も個々差別をつけることなく公平に指導する。

ホ、失敗しても責めないでその原因を親切に教え正しく導いて同じ失敗を繰返さない様にするこ
と（同道を繰返すと精神的に動搖し進歩をより遅る）

ヘ、よく出来たら大いに褒めて次の仕事に対する意欲と自信をたかめる。

ト、部下に対しては進んで礼儀を正しくし、朝、夕のあいさつを必ず交す。

チ、注意を与える場合は成るべく個人対象を避け、グループを対象として注意する。
リ、毎月一回、各職場毎に懇談会を持ち相互の意見疎通を図る仲介者となること。

ハ 観光地における乗合自動車の車掌について

丁 鉄道(株)自動車局N営業事務所

採用について

当営業事務所に切く女子車掌は現在(シーズン中)車一台に対し一三名の割合で一七五名であるが何れも新制中学又は女子高校を卒業して入社した殆どが二〇才前後の若ばかりである。車掌の採用は現地で行われ、職業安定所、各学校から公募するが、毎年二〇乃至三〇名が採用される。雇入れの際は厳重の学科試験と適性検査及び面接試験が行われ、知覚、感覺、言語、容姿等に優劣のある者が厳選されるが、近年ではその競争も烈しく、志願者一〇名について一名採用という程になっている。又、最近では、高校卒業の志願者が目立つて多くなっていることは、この職業に対する一般の評価が向上していることを示している。

雇入れ後の教育

特に観光地の車掌であるため、その内容は他と比較して充実したものであり、先ず、業務事項に關して、会社の服務規程、就業規則、労務規約などの重点指導が行われ、次いで営業事項に關して車掌としての基本教育、シナリオによる観光案内、接客心得及び登降車に約二〇日乃至三〇日間にかけて指導されるのである。

その後指導車掌による実務教育が約二週間行われ、単独業務が許されるのは、大体二ヶ月後で更に完全な一人前にするのには、半年を要する。

健康管理

会社はシーズン中の過労の影響とか土地柄冬の寒冷の時期における病変に対し、車掌の健康管理には特に注意を払い、雇入れ時の嚴格の健康診断、春秋二回の定期健康診断を行い、要注意者又はフタツリケマリの者に対する業務の停止措置及び口万全を期し、栄養剤を与えて服用せざるべし

している。近年ではこの面でも極めて良好な成果を挙げている。また、シーズンオフには約一ヶ月間に交替で車掌に面教育を行って一層素質の向上を図るほど努力している。

二 I B M 統計会計機械を扱う婦人の教育

下電気工業㈱ N 電気精錬所

企業の経営合理化、事務能率の増進を図るため、近年流行的に採用されてきた、I B M 統計会計組機、穿孔カード会計法にはあらゆる企業、図書館などの必要事項を迅速かつ正確に記号化して転記し、電算的機械によって今析又は集計する等の操作を行うものとして人口に膾炙されているが、当所に於ても昭和二十八年からこの組機を使用している。現在この業務には七名の女子職員がパンチヤーとして従事している。五台の穿孔機と三台の検査機を前に、連日午前八時から午後四時迄昼休みの一時間を除いては絶え間ない頭脳と肉体、精神の連続で働く暇もない真剣なもの、彼女達は、何れも女子高技出身の十八才から二十才迄の優秀な素質である。彼女達は入所する際に視覚と弁別能力の嚴重なテストを受けて採用されたものであるが、雇入れ後はまず一ヶ月間教科書を与えられて連続的にテストを繰返して行われ、二ヶ月目に入ってはじめて実務に就くのである。時にこの仕事はすべて事務手帳書に従って行われ、正確無比に、遂に全員が同時に同一のレベルに達していることが必要で、大体一人前になるには一ヶ月程度かかる。現在左籍者の内全数年次の最高は四年であるが、先年実施された全国パンチヤー選手権大会にはオース、オース二位の栄冠を獲得している。彼女達は高度の技術者であるので、入所して他の仕事から転換した者は一人もいないが、会社は将来膨脹する事務の能率化とスピードアップのため、この職場の重要姓に対しては格別の意を用い、適正な労務管理のため不断の苦心を払っている。

(40)

別紙ノ

二 新入生教育要項

三重県工業機械工場

4月2日(月)

午前中

身体検査

基礎教育

曜日	日 割	教育の種類	実施項目及内容	担当者	摘 要
4月 3日 火	オノ日	基礎教育	会社沿革工場確況及び将来について	工場長	午前9時開始 50分
			従業員としての心得と安全について	勤務係長	50分
			会社の組織販別及び労働条件について	労働係長	"
		寮生活指導	衛生関係	担任世話係	駆虫薬服用寄生虫の検査
			身辺整理 寮内見学	室 長	
4日 水	オニ日	基礎教育	原料から製品迄とその販路について	工場長	9時開始 50分
			原料設備について	原料係長	50分
			厚生施設と社会保険法	厚生主任	"
		寮生活指導	寮生活に必要な作法指導	担任	洗面 便所 食堂 洗濯 入浴
			身 上 訓 養	担任	
5日 木	オヨ日	午前八時 開始	田中A式に依る智能測定	教務係	智能指数 (智能偏差値)調査
			指差分類に依る手先の器用と目と手の反応測定	勤務係	取場記置の参考
		テ ス ト	淡路式に依る性格検査、一般学カテスト		外向性、内向性調査 同一環境の下に両度実施
			内田式クレペリン検査		
			貸与作業衣 サイズ測定	教務係	

曜日 曜日	日 割	教育の種類	実施項目及内容	担当者	摘 要
5日	オ3日		指 導 採 取	勤労原 匠務係	
6日 金	オ4日	基礎教育	就業規則及労務協約	勤主 務任	9時開始 50分
			勤労者の保健衛生	厚生 主任	50分
			賃金諸給与、待遇について	給主 主任	"
		寮生活指導	寄宿舎規則説明	寄主 主任	
			清掃 整理 整頓	室 長	
			外出、外泊方法及び注意	担 任	
7日 土	オ5日	基礎教育	労務基準法の概要	勤主 労任	9時開始 50分
			健康保険について	厚生 主任	50分
			民主主義について	教主 務任	"
		寮生活指導	自治生活について	教務係	
			恒 生 講 話	匠務係又は保健婦	
			郵便物取扱と諸局について	担主 係任	
8日	オ6日	休日付 リクリエーション	スクエアダンス 其の他	教務係 担主 教務	
9日 月	オ7日	基礎教育	共同生活と共同作業に必要な要素	勤主 労長	9時開始 50分
			社会生活と勤労生活	教主 労任	50分
			労務組合について	組 員	"
			学園について	教主 務任	
			アンケート 感想文 懇談 会食等	教務係 労務係	
			其の他の寮生活指導は逐次 訓練を重ねてゆく		

(42) 技術教育

曜日 曜日	日 期	教育の種類	実施項目及内容	担当者	時 間
10日 火	オノ日	基礎技術教育	模 毛	模毛科長	70分
			洗 毛	当該科長 又は主任	27分
			カード、ゴーム	〃	170分
			前 紡	〃	50分
			ミ ュ ー ル	〃	50分
			リ ン グ	〃	50分
11日 水	オノ日	基礎技術教育	合糸、擦糸、総、仕上	当該主任 又は科長	170分
			染色、試験、其の他補助部門	〃	100分
			工場見学	勤務係	
			転場決定	〃	
			転場幹部紹介	〃	
			転場各に応じての部屋管理実施	寄宿係	

実 習

12日 木	オノ日	実習教育	転場配置 出張場動向	当該主任 又は科長	
			当該転場指導者紹介 隣接関係先紹介	〃 〃	
			此の転場で働く者の心構	科 長	
			此の転場の概要	〃	
			此の転場の安全	〃	
			当該工程説明	〃	
			基本動作に依る実習指導	指導員	} オノ日も繰返す
			転場機器設備 部員名取及機能	科 長	

曜日 曜日	日 割	教育の種類	実施項目及内容	担当者	備 考
13日 金	オ2日	実習教育	当該行程説明機爲設備 部品 名称及機能	主 任	
			標準動作に依る実習指導	主任又は 指導員	オ3日以降繰返す
14日 土	オ3日	実習教育	標準動作に依る実習指導	“	以下繰返し最終日は
			機械の掃除方法	主 任	
15日 日		日曜は付	近距離旅行	教務係	
16日 月	オ4日	実習教育	安 全 教 育 実 習 指 導	主任又は 指導員	
17日 火	オ5日	“	原料半製品、製品、屑物取扱 い 実習指導	主任指 導員副長	許可作業について
18日 水	オ6日	“	輸出品、官庁品、民研品につ いて 実習指導	主任主任 科長指導員	
19日 木	オ7日	“	作業急所の説明及基本動作 実 習 指 導	“	作業標準
20日 金	オ8日	“	消火器の取扱い災害時応急措 置 実習指導	“	非常時対応方法
21日 土	オ9日	“	屑物識別、検査標準装置 実 習 指 導	“	試験方法について
22日 日			文化座、演劇部、音楽部共催 にて放業会を開く		
以下オノタ日目(オ6日、木)よりスケ月間実習指導をつづける。					

付

婦人の職業関係統計資料

- I. 職業別女子就職者数（女子1万人以上）
- II. 女子学卒の求人、求職者数
- III. 女子学卒の職業別就職分布
- IV. 各種学校卒業者数
- V. 都道府県別公共職業補導所数及び女子在所有者数
- VI. 補導種目別一般公共職業補導所女子在所有者数

I. 職業別(小分類)女子就業者数(女子1万人以上)

— 1950年10月および1955年10月 —

職業(大分類)	職業(小分類)	昭和25年	昭和30年
専門的技術的職業		千人	千人
		501	598
	高等, 中, 小学校及幼稚園の教師*	220	240
	助産婦	37	34
	看護婦	87	130
	あんま, マッサージ師, 柔道整復師及びはり, きゆう師	12	
	宗教家及び宗教師	19	24
	社会福祉事業職員	12	
	薬剤師	—	10
	保健婦	—	11
管理の職業		18	22
	会社役員		14
事務従事者		897	1,153
	会計事務員	246	367
	速記者, タイピスト及重機	39	45
	郵便局事務職員*	18	11
	電話交換手	62	86
	給仕	24	
	鉄道事務を除く電車バス車掌	11	
	一般事務員	—	624
	渠金人	—	13
販売従事者		1,132	1,646
	呼売人, 行商人及び露天商人	102	101
	販売に従事する飲食店主*	48	80
	販売に従事する小売店主*	217	290
	(他に分類されず)		
	販売店員及びその他の販売従業者	748	
	卸売店主	—	12
	保食外交員, 保換代理人	—	18
	販売人	—	1,106

取業 (大分類)	取業 (小分類)	昭和25年	昭和30年
農夫、伐木夫、猟師、漁夫及び類似従業者*		千人	千人
		8,365	7,924
	農耕作業者	838	7,765
	養蚕作業者	15	
	農耕賃金労働者	153	
	農耕家族従業者	7,070	
	養蚕家族従業者	137	
	畜産家族従業者	27	38
	炭坑夫及び製薪夫	39	
	漁業者	26	
	漁業賃金労働者	11	
	森林採取人	19	11
	畜産従事者	-	45
	猟夫	-	24
	水産養殖従事者	-	21
採鉱採石の取業*		37	23
	運炭夫	15	
	採鉱採石の単純労働者	11	
	送鉱夫、送炭夫	-	12
運輸従事者			33
	車掌		29
技能工、生産工程従事者及び単純労働者(他に分類されない。)*		1,927	2,473
	繰糸工	58	
	精紡工及び組筒工	81	
	撚糸工及び合糸工	28	35
	掲込工、再繰工及び撚取工	16	20
	織布工	217	255
	製網工及び繋網工(金網製品を除く)	18	25
	縫物工及びメリヤス織工	31	48

取 業 (大分類)	取 業 (小分類)	昭和25年	昭和30年
	米 市 染 色 工*	千人 15	千人 21
	漂白、精練及び整理工	17	
	和服裁縫師及びドレスメーカー	228	
	町 細 工 取*	15	20
	パン、菓子取	40	
	精穀工及び精粉工	23	22
	豆 腐 製 造 取	15	
	麵 張 製 造 取*	15	13
	味噌工及び味噌取	14	
	土 工	40	45
	運搬夫 (他に分類されない)	17	
	人夫取扱 (他に分類されない)*	145	
	郵便人 (トラック運転手及び自動車運転)	10	20
	電気機械組立及び修理工		20
	製 糸 工		82
	紡 績 工		86
	織 機 操 縦 工		37
	羊毛取仕立取		43
	裁断師、ドレスメーカー		120
	ミ シ ン 工		124
	菓、草、製製品製造工		77
	製 紙 工		19
	紙、ハイパー製品製造工		34
	印 刷 工		13
	製 本 工		12
	絵 付 工		10
	陶 磁 器 工		19
	煉瓦、瓦、土管製造工		17
	かん詰、びん詰製造工		15
	水産物加工工		73
	タバコ製造工		17
	塗 装 工		16
	包装工、荷造工		73
	道 路 工 夫		41
	仲 仕 運 搬 夫		24
	パン菓子製造工		54
	豆腐、こしらえ、味噌、茶製造工		20
サービス取業		866	1,435
	世 中 (個人家庭の)	234	308

職業(大分類)	職業(小分類)	昭和25年	昭和30年
		千人	千人
	派遣員	13	21
	その他の家庭使用人	23	
	料理人(個人の家庭を除く)	43	
	旅館、下宿の番頭	18	37
	女中・足給仕(個人の家庭を除く)	241	368
	理髪師及び美容師	105	181
	浴場従業員	21	26
	掃除婦(機織掃除人を除く)★	16	
	授業場、競技場の従業員★	18	57
	芸妓、ダンサー及び娯楽婦	63	131
	倉庫、寮母、保母		59
	料理人、バーテンダー		178
	洗濯婦、洗濯工		25
	旅館、下宿、貸席等の主人、番頭		37
	浴場主、浴場従業員		26

注 1) 1950年は総理府統計局 - 昭和25年国勢調査全数集計結果による14才以上
就業者数

1955年は " - 昭和30年国勢調査1%抽出集計による15才以上
就業者

であり、職業分類方法がちがった箇所もあるため両年間の厳密な意味での比較は
できない。

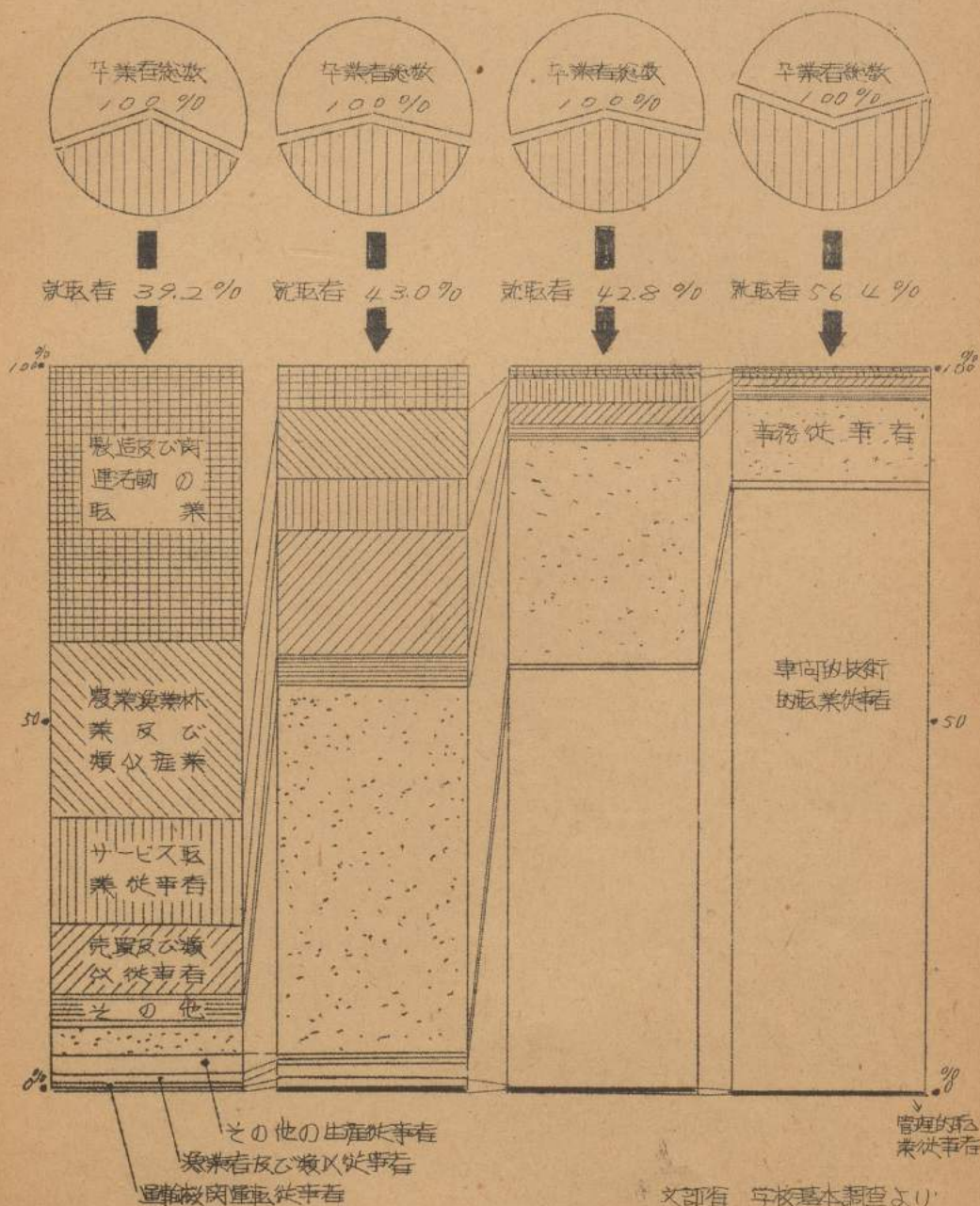
2) ★印は、両年直における職業名が若干異なるが、分類内容は同じとみなされるも
のである。

3) 両年とも大分類の総数は小分類の合計と一致しない。

Ⅲ 女子学生の職業別就職者分布

(昭和31年度卒)

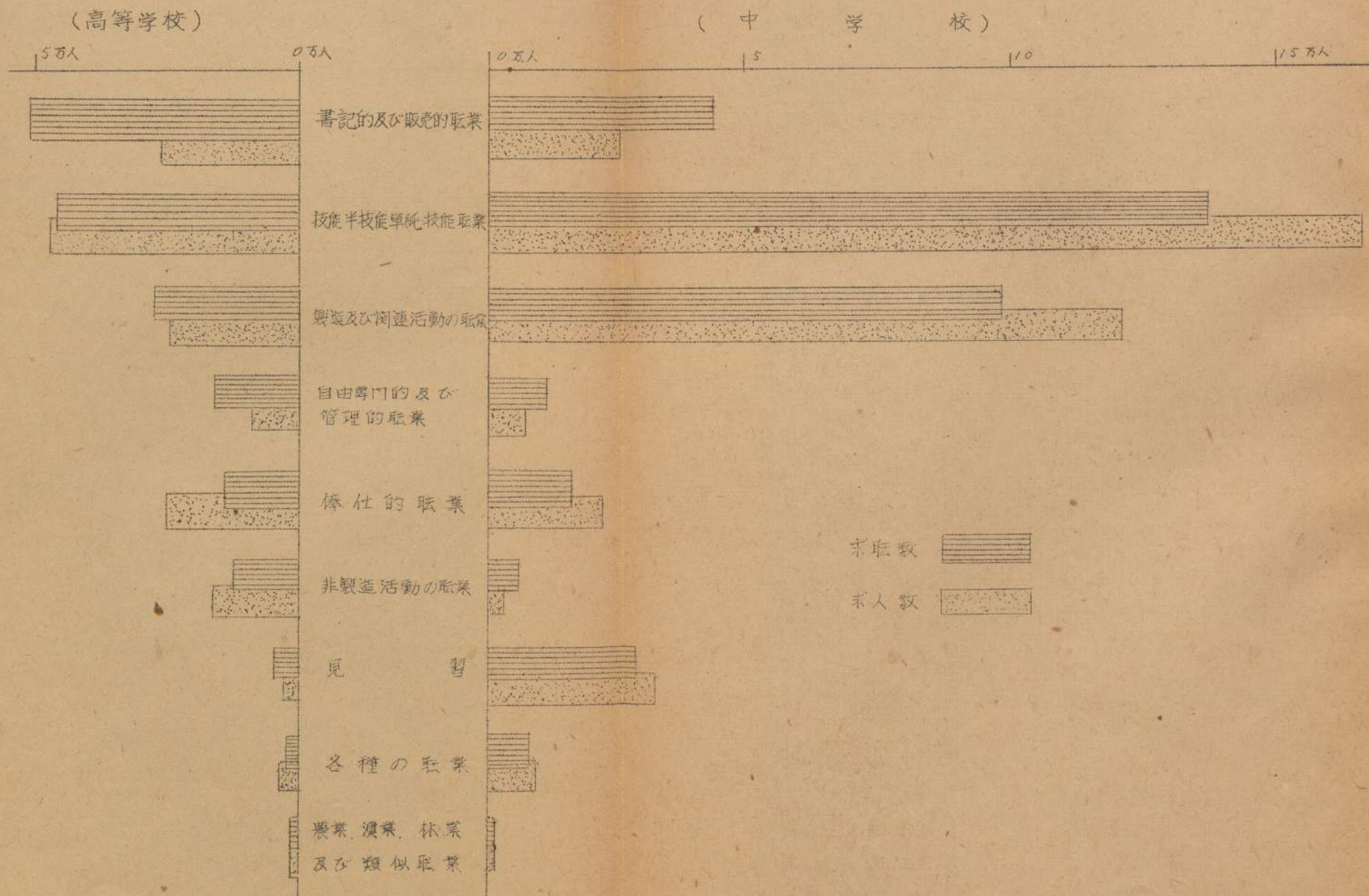
中 学 校 高 等 学 校 短 期 大 学 大 学

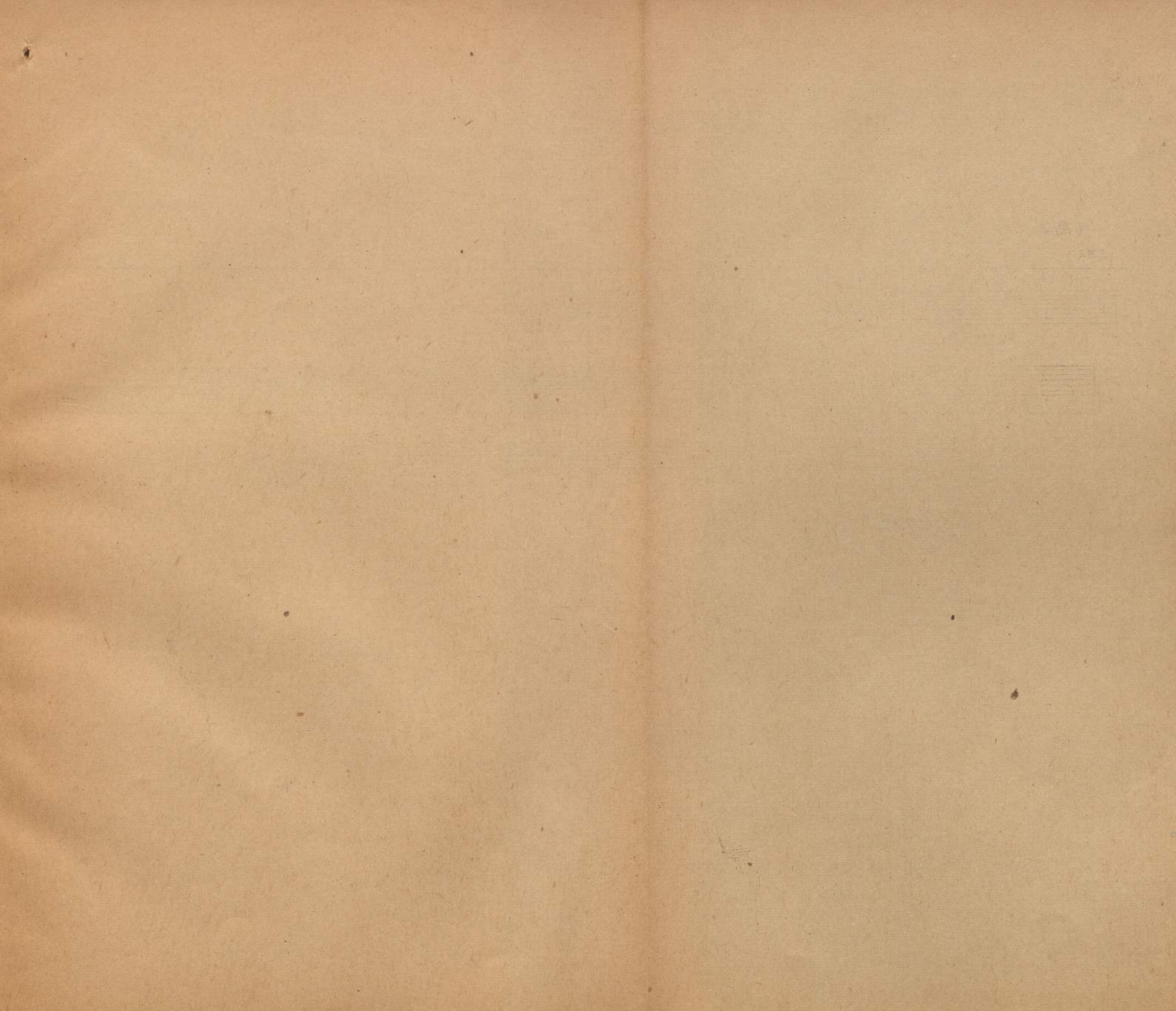


九

Ⅱ 女子学卒の求人、求職者数

(昭和31年度卒)





Ⅳ 各種学校卒業者数 (1955年4月~1956年3月)

区	分	女	男
	計	492,496	189,484
普通	通業	11,059	36,542
農工	業	167	636
自商	車	140	9,548
経理	業	1,626	77,757
師範	算	3221	3,134
音楽	数	35,142	36,443
家庭	学	31,073	892
保健	芸	43,413	9
短期	奏	17,397	328
大学	成	12,575	13
予備	母	922	4
短期	教	276	548
大学	師	5,595	14
予備	範	101	135
短期	学	7,358	3,513
大学	容	18,278	2,153
予備	ト	5,066	11,463
短期	学	286	554
大学	術	1,583	465
予備	業	17,555	5,296
短期	他		

註. ニニに掲げた卒業者は、1955年4月1日から1956年3月31日
までのすべての卒業者である。

文部省調査局 — 学校基本調査

V 都道府県別公共職業補導所数及び女子在所者数(1956年12月)

府県別	一般補導所						総合補導所		簡易家事サービス補導所		
	施設数	昼間部		夜間部		施設数 (総合補導所)	定員	女子在 所者数	施設 数	定員	最終者数
		定員	女子在 所者数	定員	女子在 所者数						
合計	245	22,280	5,666	2,980	774	19	3,265	426	11	150	330
北海道	9	1,025	58	60	14	1	200	5	—	—	—
青森県	6	600	103	60	50	—	—	—	—	—	—
岩手県	9	480	121	—	—	—	—	—	—	—	—
宮城県	7	620	220	30	—	—	—	—	—	—	—
秋田県	8	505	72	—	—	—	—	—	2	30	60
山形県	4	370	145	—	—	—	—	—	2	30	60
福島県	6	375	125	—	—	1	150	—	—	—	—
茨城県	8	520	76	80	—	—	—	—	—	—	—
栃木県	6	290	90	25	—	—	—	—	—	—	—
群馬県	4	255	95	—	—	1	170	—	—	—	—
埼玉県	7	335	110	50	—	1	170	—	—	—	—
千葉県	5	250	93	—	—	1	180	—	—	—	—
東京都	9	1,825	581	650	224	2	355	169	—	—	—
神奈川県	7	710	330	440	46	1	290	—	—	—	—
新潟県	9	620	71	105	46	—	—	—	3	30	90
富山県	6	420	150	30	6	—	—	—	—	—	—
石川県	7	455	105	—	—	—	—	—	—	—	—
福井県	4	190	21	30	19	—	—	—	—	—	—
山梨県	5	380	173	—	—	—	—	—	—	—	—
長野県	7	680	122	—	—	1	190	29	2	30	60
岐阜県	5	320	103	—	—	1	160	—	—	—	—
静岡県	3	455	92	120	12	1	130	108	—	—	—
愛知県	5	650	254	—	—	1	200	—	—	—	—
三重県	4	330	59	—	—	—	—	—	—	—	—
滋賀県	4	290	9	—	—	—	—	—	—	—	—
京都府	4	355	133	30	5	—	—	—	—	—	—
大阪府	5	1,105	220	450	182	—	—	—	—	—	—
兵庫県	5	1,050	182	210	75	—	—	—	—	—	—
奈良県	4	360	204	30	—	—	—	—	—	—	—
和歌山県	2	260	71	—	—	—	—	—	—	—	—
鳥取県	3	365	101	60	17	—	—	—	—	—	—
島根県	6	365	93	30	—	1	60	—	—	—	—
岡山県	6	555	161	—	—	—	220	79	—	—	—
広島県	7	695	154	70	10	1	—	—	—	—	—
山口県	3	140	68	—	—	1	170	20	—	—	—
徳島県	3	380	100	—	—	—	—	—	—	—	—
香川県	3	245	77	30	8	1	210	16	—	—	—
愛媛県	4	235	89	—	—	—	—	—	—	—	—
高知県	3	250	141	90	60	1	30	—	—	—	—
福岡県	6	230	72	210	—	2	320	—	—	—	—
佐賀県	3	145	45	—	—	—	—	—	—	—	—
長門県	3	325	83	—	—	—	—	—	—	—	—
熊本県	6	370	91	—	—	—	—	—	—	—	—
大分県	3	390	105	30	—	—	—	—	—	—	—
宮崎県	7	500	52	30	—	—	—	—	—	—	—
鹿児島県	3	310	46	30	—	—	—	—	2	30	60

註 1) 補導定員数は男女の区別はない。

VI 補導種目別一般公共職業補導所女子在所看数

(1956年12月)

種	目	別 ¹⁾	補導定員 ²⁾	女子在所看数 ³⁾
合		計	—	5,666
岸		裁	1,935	2,009
経	理	務	1,425	991
美		容	510	513
理		容	740	487
男	子	取	560	435
和	文	プ	380	344
手	写	差	350	192
膳	印	刷	470	177
英	文	プ	110	97
ミ	シ	縫	90	83
和		裁	60	66
製		図	180	59
紙		印	285	57
刺	し	ラ	45	42
糸		器	180	28
製		紙	60	23
活	版	刷	110	16
活	碓	器	140	13
間		取	30	9
置	ジ	理	240	7
ラ	オ	修	60	5
時	計	理	3,200	3
木		工	1,680	4
自	動	備	30	4
写	車	術	30	1
テ	真	修	360	1
テ	し	装		

註) 1. 特に女子の利用している補導種目のみを掲げた。

2. 補導定員数には男女の区別はない。

所労省職業安定局調

